

Press Release

2024 年 3 月 19 日
SUSE ソフトウェアソリューションズジャパン株式会社

SUSE、プラットフォームエンジニアリングチームの拡張を支援し、AI/ML ワークロードをサポートするために、コンテナ管理ポートフォリオを強化

- Rancher Prime 3.0 に追加された新しいエンタープライズグレードの機能には、プラットフォームエンジニアリングチームによるセルフサービス PaaS の提供、Rancher Prime アプリケーションコレクションの提供、および AI/ML ワークロードのサポートの拡張が含まれます
- 最適化された SUSE Edge 3.0 で、オープンソースを通じてセキュリティと拡張性を提供

パリ - 2024 年 3 月 19 日 - [SUSE®](#) は、お客様がビジネスクリティカルなワークロードをどこでも安全にデプロイし、管理できるようにするために、クラウドネイティブおよびエッジポートフォリオ全体にわたっての強化を発表いたしました。Rancher Prime 3.0 の新機能は、Rancher の商用提供で、企業がビジネスクリティカルなプロダクションワークロードをデプロイおよび管理するために必要な機能を提供します。また、SUSE Edge 3.0 は 100%オープンソースソリューションでのチョイスと安全なプラットフォームを提供します。

SUSE エンタープライズコンテナ管理ビジネスユニットのゼネラルマネージャーである Peter Smalls は、「SUSE にとって、商用ユーザーとオープンソースユーザーの両方が同様に重要です」と述べ、次のように話します。「そのため、当社の使命は二つの面があります。企業のお客様がビジネスクリティカルなプロダクションワークロードをデプロイおよび管理するために必要な機能を提供する必要があります。それと同時にイノベーションをサポートし、当社の巨大なオープンソースユーザーコミュニティを成長させるためにも投資を続ける必要があります。今日の発表はその両方を示しています」

セキュリティとライフサイクル管理、Rancher Prime でのセルフサービス PaaS の実現

Rancher Prime 3.0 の新機能は、プラットフォームエンジニアリングチームが彼らの開発者コミュニティにセルフサービス・プラットフォーム (PaaS) を提供し、AI ワークロードのサポートを強化するのに役立ちます。

Rancher Prime 3.0 の機能には以下が含まれます：

- SLSA 認証およびソフトウェア部品表 (SBOM) によるセキュア・ソフトウェア・サプライチェーンの強化は、企業が必要とする信頼できるデリバリーを提供します。
- ソフトウェアライフサイクル管理がアップデートされ、上流の Kubernetes ライフサイクルに密接に合わせて一貫した、繰り返し可能なリリースを提供します。
- Cluster API の提供と新しいクラスタークラスの提供により、プラットフォーム・エンジニアリング・チームがセルフサービス PaaS を提供し、自動化によってスケールしながら、コードからプロダクションまでを加速することを支援します。

- Rancher Prime アプリケーションコレクションの提供により、1 つの信頼できるエンタープライズグレードのディストリビューションプラットフォームを通じてオープンソースアプリケーションを取得できます。
- 認定された Kubernetes ディストリビューションである RKE2 および K3s は、NVIDIA のコンテナランタイムの使用を自動的に検出/構成するように強化され、AI/ML ワークロードのデプロイを簡素化します。

SUSE は、Rancher Prime のポートフォリオ全体と、マルチクラスタ管理、OS 管理、VM 管理、永続的ストレージ、および SUSE の認定済み Linux OS である SUSE Linux Enterprise Micro を含む一括パッケージと価格を発表いたします。

オープンソースイノベーションとコミュニティへの継続的な投資

SUSE は、その広範なクラウドネイティブポートフォリオ全体でオープンソースイノベーションに投資し、大規模なユーザーコミュニティをサポートしています。主な強化点は次のとおりです：

- **Harvester 1.3.0** : GPU カードのサポートにより、ユーザーは Harvester によって作成された 1 つ以上の VM に vGPU を割り当てることができます。Arm サポートは技術プレビュー版として利用可能になりました。
- **Longhorn 1.6.0** : データエンジンバージョン 2.0 の技術プレビュー版の最新のアップデートにより、バージョン 1 とバージョン 2 のデータエンジン間でのシームレスなパフォーマンスボリュームのバックアップと復元操作が可能になります。
- **RKE2 と K3s** : NVIDIA GPU サポートと完全な Arm サポートが提供されました。
- **NeuVector Prime 5.3.0** : 新機能には、エグレスネットワーク接続の可視化、GitOps 自動化、および arm64 アーキテクチャの拡張サポートが含まれています。

詳細なアップデートのリストは[こちら](#)をご覧ください。

SUSE Edge 3.0 は、オープンソースの力をエッジに拡張

より高度なエッジ体験の要求は急速に増加しています。IDC によると、企業のインフラストラクチャ支出の 25% がエッジ向けになると予想されています。SUSE Edge 3.0 は、この拡大する要求に対応するために、高度に検証、統合、そしてエッジ向けに最適化されたスタックを提供します。

「エッジはイノベーションの次の最前線ですが、多くの組織がエッジでの変革を加速する際に課題に直面しています – それは、現在のスケール感でのデプロイ方法、リソースの制約、そして技術的負債に関する知識不足です」と、SUSE エッジビジネスユニットのゼネラルマネージャーである Keith Basil は述べています。「エッジとは簡単に言うと、ビジネスバリューとコンピューターパワーを、顧客とデータが存在する場所、つまり最適な場所にプッシュします。SUSE Edge 3.0 は、チームがエッジを安全に、自信を持って、スケーラブルにデプロイするために必要なものであり、最終的には競争上の優位性を維持と成長を支援します」



SUSE の 100%オープンソースの基盤上でエッジ用に目的に合わせて構築された SUSE Edge 3.0 は、次のような機能を提供します：

完全に統合されたクラウドネイティブエッジプラットフォーム：エッジインフラ全体の効率を向上させます。

エンタープライズグレードのセキュリティ：どこに配置されているかに関係なく、すべてのエッジデバイスにフルプラットフォーム、データセンターグレードのセキュリティを提供します。

スケーラビリティ：数百から数万のノードまで、エッジインフラストラクチャを簡単にデプロイおよび管理します。

Rancher Prime 3.0 および SUSE Edge 3.0 は、2024 年 4 月に提供されます。詳細については、KubeCon Europe 2024 のブース G5 で SUSE にご連絡ください。

SUSE について

SUSE は、SUSE Linux Enterprise (SLE)、Rancher、NeuVector をはじめとする、革新的で信頼性と安全性の高いエンタープライズオープンソースソリューションのグローバルリーダーです。Fortune 500 企業の 60%以上が SUSE を利用してミッションクリティカルなワークロードを実行しており、データセンターからクラウド、エッジ、そしてその先に至るまで、あらゆる場所でのイノベーションを可能にしています。SUSE は、オープンソースに "オープン" を戻し、パートナーやコミュニティと協力して、お客様がイノベーションの課題に取り組むためのアジリティと、戦略やソリューションを進化させる自由を提供します。詳細については、<http://www.suse.com/>をご確認ください。

